

新年あけましておめでとうございます

大家新年好！

日中友好協会岡山支部 支部長 真田紀子

新しい年を迎え、2017年の抱負を述べます。昨年は残念ながら文化講座を開催することができませんでした。今年はぜひとも現代中国の今の姿を知る学びの場を作りたいと思います。

理事会の知恵だけでは足りないところを、会員みなさまのお知恵を拝借したいと考えています。

日中友好協会の目的である「日中不再戦・平和擁護の諸活動」を広めるためにも、相互理解は不可欠です。中国の若い人々の、岡山に住んでいる留学生・または働いている中国人の、今現在の考え方を知らるために、日本の若者も交えて、自由に語り合える場を作りましょう。

そして、今年こそ岡山県連を立ち上げましょう。

2017年 年頭の挨拶

日中友好協会倉敷支部 理事長 栗本 泰治

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

今年の私の年頭の句は、

ダイヤ婚 日中友好が一番と去年今年

結婚して60年のダイヤモンド婚の年を迎え、新年も友好が一番、と貫く決意を詠んだものです。

私が生まれたのは、昭和6年ですから、日本の軍国主義が中国で侵略戦争を始めた年です。1931年9月18日、奉天「まの藩陽」に近い柳条湖で日本軍が南満州鉄道を爆破し、それを「中国軍のしわざ」と偽って一気に軍事行動に出て、南満州を制圧したのが「満州事変」です。それが戦後になって初めて明らかにされて、私が生まれた年のことですから衝撃を受けたことを覚えています。

1972年の日中国交正常化の際、日本側は、過去において日本国が戦争を通じて中国国民に重大な損害を与えたことについての責任を痛感し、深く反省する、その上に立って「両国間の平和友好関係を強固にする」と謳っていますが、いまの安倍内閣はその中国を敵対視しています。

昨年11月に、岡山市の友好都市「洛陽」を訪ねましたが、見るもの、聞くもの、日中友好の必要を痛感するものばかりでした。



おひかやま

読字 原田 鏡

No. 817

2017/1/5

日中友好新聞

発行所

日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
西新1-1-1 西新ビル

日中友好協会
岡山支部

〒713-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3016
郵便番号119
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部

〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:086(445)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



「望年会」和やかに、真剣に日中交流

12月11日、日中友好協会岡山支部恒例の望年会が岡山県

民衆会館で行われました。竹内和夫さんは左足の不調で参加できませんでした。22人で和やかに歓談しました。やはり本場の餃子は水餃子が美味しい。帰国者の益田、今岡、高杉家の味を皆で堪能しました。おでん、おむすび、サラダは小林、稲葉、真田さんが準備、これも定番メニューとなり、皆、舌つづみを打ちました。ごちそうさまでした。河井理事は大の酒好き、今年もこだわりの、高知の憲法9条「を買いたい、ふるまいます。岡山では売っていない酒です。

氏平県議、議会会期中の林市議、日中倉敷支部の犬飼理事

も駆けつけてくれました。

氏平さんは、県議会に自民党から「中国は『ナ』と呼ぶことにせよ」という陳情がまた出た、と報告。中国地方の岡山」というときの「中国」と、中華人民共和国の「中国」、どちらも「中国」では紛らわしいから、あちらの呼称を「ナ」に、というのが提理由らしい。時代錯誤も甚だしい陳情で、失笑ものだったようだが、継続審査になったとのこと。陳情書にあるのが「ナ」か「支那」かは、この報告時点では不明だった。チャイナに、と言うなら、こんなに嗤われる(わられる)ことにはならなかっただろうに、と思った次第です。

司会の小林さんは、参加者全員に自己紹介的な短いスピーチ

を要請。その中から、帰国者の今岡理事の娘である愛子さんのものを紹介します。

愛子さんは、仕事も子育てもと奮闘しているママさんです。彼女は今の日本の現状に不安を持っています。とりわけ、過去の歴史から学ぼうとせず、侵略戦争を肯定する人たちが権力をもつていて、近現代の歴史を子どもたちに正確に教えようとしていないことに。国際的に通用しない歴史認識では、将来、自分の子も困ることになるし、こんなことでは友好関係を築くことが難しくなる、とても心配だ、というような発言でした。ゆつくり、ゆつくり考えながら語る愛子さんの言葉は、聞くと聞くと響きました。帰国者の本音を聞かせてもらった、と思つたのは、私だけではないと思つた。



百科検定 対策講座(第1回)

これを受ければ、2, 3級必ず合格！
とき 2016年1月29日(日)

13時～15時

ところ 岡西(こうさい)公民館(県民大会館北隣)2階実習室

※ 第1回は犬飼 繁さんが講師です。歴史、地理分野担当です。

※ 受験を決めていない人も大歓迎です。

※「中国百科検定問題集」(日本中国友好協会編 定価 1000円+税 岡山平和書房にあります)を持参してください。(未購入の方、当日でも購入できます。

※ 受講料は無料です。

2017年3月20日の検定日までに、あと2回は講座を行います。

日中友好協会岡山支部の望年会での挨拶

岡山県議会議員 氏平みほ子

安倍内閣は、中国や北朝鮮への脅威論を煽りながら、日本が再び戦争する国にするための戦争法の強行実施や、憲法を変える動きを強めています。

しかし、今や日本と中国は経済活動の良きパートナーとして、なくてはならない存在になっていきます。岡山県からも140社以上の企業が中国に進出し、他国をぬきんじて

提出されています。市議会は不採択となりましたが、県議会では継続審査となっています。

トップです。中国が日本に戦争を仕掛けるなど、何の得もなく、ありえないことではないでしょうか。しかし、岡山県議会に昨年11月、真実の歴史を学ぶ会（理事長、高橋正憲）から、「中国」の呼称の適正化を求めることについての陳情が提出されました。中国の呼称を「支那」と呼ぶよう国に求めるとの陳情であり、同時に岡山市議会にも

陳情理由は、「中国」という呼び方は、日本の中国地方と紛らわしい呼称であり、中国地方の日本人に被害や不利益が起こっているという妄想めいた主張です。まったくばかばかしいと思います。その根底には、中国蔑視の思想があり、脅威を煽り、対立関係を強めさせ、日中友好を否定しようとするものです。こうした動きに敏感に対抗していかなければなりません。

言葉は通じないが笑いは通じる

小林 軍治

12月2日、(金)、岡山国際交流センターで、中国帰国者

に対する相談説明会及び健康増進交流会が開催されました。中国・四国中国帰国者支援・交流センター(広島市)

主催で、岡山県内から15人が参加しました。

午前中は、岡山中央警察署の職員による、交通安全教室でした。内容は、交通ルール、道路標識及び、自転車の正しい乗り方などの説明でした。とくに、帰国者は高齢者が多いので、高齢者の交通事故防止について、ていねいに話されました。高齢者が交通事故にあいやすい要因として

体力・運動能力の低下・視力・聴力の低下、認知・判断力の低下の解説の後、事故は他人事と思いがち(今まで大丈夫だったから自分は事故にあわないと思いがち)過信)

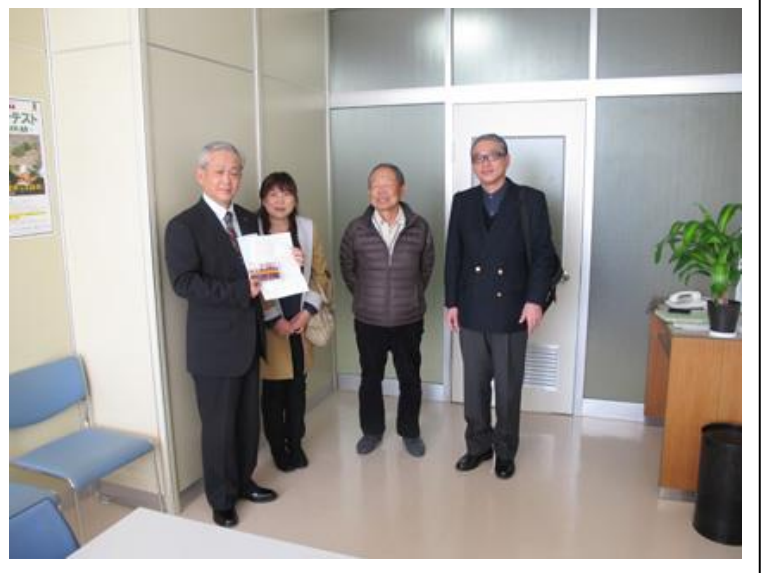
が最も危ないと強調されました。

私は横山さんと同席で話を聞いたので、夫の耿生さん(残留孤児訴訟岡山原告団の元事務局長)が、自転車に乗っていて、交通事故で亡くなったことを思い出しました。

午後からは、日本笑いヨガ協会に所属する、岡山紅の会の代表永田ツギ子さんの指導のもと、いすに座って輪になって体験しました。最初は、少し恥ずかしがっていた人も、永田さんの身振り・手振りや笑いのしぐさに引き込まれ大声で、笑いあうようになりました。私も身体を動かして、大声で笑ったので、心が解放された気分になりました。帰国者の皆さんも、はち切れんばかりの笑顔になっていました。

岡山市長さんへ親書のお礼と、旅行の報告へ

洛陽市訪問時に岡山市長さんの親書を預かり持って行きました。12月14日(水)、岡山市長さんへ親書のお礼と洛陽市の歓迎会や旅行の報告に岡山市役所に行きました。
秘書課市長公室長 谷利雅喜氏、国際課課長 田中哲也氏 梶川 楠氏が対応してくれました



第3回中国百科検定

12月1日より受験者を受付中です。
みなさんぜひこの機会に受験してみませんか。



た。だから交通安全の意識を高めて、交通規則を守ることが人々の責任です。
午後、みんなは笑いヨガを体験しました。めずらしい体験でした。みんな互いに大笑い、とても楽しかった。笑いヨガを通して、疲労回復、脳細胞の刺激、睡眠をよくする、ボケ防止の作用などがあるそうです。遊びながら健康にいいのでとてもいいストレッチでした。このストレッチは近いうちに、よい発展をすると信じます。

私は、最後に永田さんが言われた「今回はじめて、言葉が充分通じないみなさんと出会い、自分も教えられた」と次のように話されたことが強く心に残りました。自分が笑っていると相手も笑う。笑いのすばらしさは、世界どこでも同じ。言葉は通じないが笑いは通じる。笑いに言葉はいらない」などです。
今回も素晴らしい企画をしてくださった中国・四国交流センターの職員の皆さんに深く感謝します。
次に参加者の感想を紹介します。

中国帰国者 益田聖子
中国・四国中国帰国者支援交流センターの職員さんは岡山に来てくれて、帰国者のために交通安全教室を開きました。帰国者一世と二世はみんな年を取ってから、自転車に乗ることが多い。そのために岡山中央警察署交通安全課の職員さんは、自転車の規則と交通安全条例をビデオで説明してくれました。自分のためにも、家族のためにも、他人のためにも、交通規則を守らないといけないと思いま

次回の新聞発送作業は
1月11日(水)午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

岡井林田 製
今河小曾 竹内井 坪

